豊田中学校　学校だより

豊 田 の 里

令和元年 11 月 15 日
第 9 号
発行　豊田中学校

～実りの秋を経て～

～　ながふじ学府一体校建設工事　その２　～



季節がずいぶんと進みました。朝夕の空気は肌寒く、冬の到来を感じさせます。

一体校の基礎工事、９０m級のクレーンが２機、壮大な景色です。校舎が立つエリアは、5m以上深く掘り下げられているように見えます。堅固な基盤基礎の上に、これから上へ上へと建物が伸びていきます。間もなく周囲からも建物が見え始め、工事の進捗がうかがえるようになると思います。

さて、この夏から秋にかけては、たくさんの行事がありました。御協力・御来校ありがとうございました。３大行事の中で、例年この時期に開催されている合唱コンクールに加え、工事の関係で鉄人遠足も秋開催となりました。ＳＰＥＡＫプロジェクトでは、市内のＡＬＴが集結し３年生は英語を通してコミュニケーションを図り、交流を楽しみました。「ウェルカム赤ちゃん」では 17 組の赤ちゃんとお母さんが来校してくれました。赤ちゃんをだっこする経験はなかなかないことかと思いますが、とても良い経験ができました。本校にとってこの秋は、多くの実りのある季節となりました。

～　ｽﾅｯﾌﾟｼｮｯﾄ　～




















校長講話「『学び・充実』の節」
～学問の木「櫂の木」の紅葉を眺めて～

皆さん、こんにちは。すっかり秋が深まりました。

中庭の真ん中にある木も日に日に紅葉を深めていますね。

ところで、この紅葉している木は何という木か知っていますか。今から１５年ほど前に植えられたそうです。ちょうど３年生の皆さんと同じ年ですね。

この木は**「櫂（かい）」**という木で、原産は東南アジア、ウルシ科の落葉樹です。孔子という儒教を開いた人のお墓が中国にあって、そのお墓の周りに植えられていることから「学問の木」と言われています。また、中国で昔行われていた「科挙」という官吏登用試験（政府の役人になる試験）がものすごく難関でしたが、この試験に合格した人にこの櫂の木から作った笏（しゃく）を授与していたそうです。こうした故事から、当時の谷校長先生がこの中庭に植えられたそうです。「学問成就」という願いが皆さんに届くといいですね。



さて、紅葉が深まる山梨県と静岡県の境くらいの所に、日蓮宗の総本山で身延山久遠寺というお寺があります。そこを訪れたおり、久遠寺の本堂の所に、**「悪い言葉は不幸を呼び、よい言葉は幸福を招く」**と掲げてあったことを思い出しました。昔から「ことだま」と言いますが、言葉には魂が宿っていると考えられています。言葉を発した人の人格が、その言葉を通して相手に伝わります。それだけで影響力があるのです。この言葉の難しいところは、受け取り手の感情によって、相手の想いが十分に伝わらないことも多々あるということです。私たちは、受け取り手、話し手の想いをくみ取りながら、解釈する力を身に着けていく必要があります。秋の紅葉のように美しい言葉を遣い、清流のように清い心で受け止められる寛容性をもった懐（ふところ）の深い心もちでいられるように努めたいものだと思いました。

いよいよ受験シーズンを迎えます。心穏やかにいられないこともあると思います。そんなとき、今の話を思い出してみてください。少し、暖かな気持ちになれることと思います。